大学院「数理・計算科学特論第六」
学部「計算機科学特別講義第三」

レポート課題

- 以下4つの内から1つテーマを選んで，原則A4 2ページ以内で数理計算科学専攻らしい考察をして下さい
- 宛先：hirataアットマークbrl（ビーアールエル）.ntt.co.jp　Subject: 集中講義レポート
- 締切：2009年12月18日
- できるだけplain textで（読みやすさのため）．図表を含めたければPDFでもok
- 講義全体の感想などを書き添えてもらえると嬉しいです

1. 感性や芸術性はどうすればモデル化できるのか
   計算論的音楽理論には感性，嗜好，芸術性，個性というコトバがなかった

2. 音楽が計算できるようになると何が起きるでしょうか
   これまでは，作曲，編曲，演奏から能動的聴取へ，だった．

3. なぜ音楽は長い時間聴くように発展してきたのか．判定できるか．
   1曲は長くなってきた．人は繰り返し聴ける曲を探している

4. 計算の次のパラダイムは何だと思いますか
   四則演算，ゼロの発見，微積分，チャーチの提唱，ベストエフォート/コーパス/Web，統計的計算